



小松マテーレ株式会社 個人投資家向け オンライン会社説明会

証券コード:3580

代表取締役社長 中山大輔

2025年9月3日(水)

Art in Technology
komatsumateRe



目次

I. 会社概要

II. 当社の強み

III. 業績状況

IV. 中期経営計画

V. 株主還元



I . 会社概要



業 種：繊維の染色加工技術を基盤とした
化学素材メーカー

本 社：石川県能美市浜町又167番地

設 立：1943年10月8日

代表者：代表取締役社長 中山 大輔
(2024年6月～)

株 式：東証プライム市場

資本金：46億8千万円

売上高：395億円(2025年3月期)

社員数：1,203名(連結)

- ・連結子会社 国内5社、海外1社
- ・持分法関連企業 2社

I -2. 会社概要 「事業所所在地」

本社・製造部



石川(能美市・白山市)



石川・本社製造部

営業所(2か所)
ショールーム(1か所)



東京(南青山)

大阪(梅田)



東京・東京営業所



東京・青山ショールーム

I-3. 会社概要 「当社80年の歴史」

1943年 「小松織物精練染工」を設立

1963年 「小松精練」に社名変更

1970年 大証二部上場

1973年 販売課新設(自販事業開始)

1980年 東証一部上場

1999年 市場開拓室 新設(海外自販事業開始)

2013年 第5回PVアワードグランプリ受賞

2015年 ファブリック・ラボラトリー「fa-bo」完成

2018年 創立75周年を機に「小松マテーレ」に社名変更 ▶

2020年 BtoC(一般消費者向け)事業へ本格参入

2021年 ファクトリーショップ「mono-bo」オープン
サステナブルブランド「mate-mono」上市

2022年 プライム市場へ移行

2023年 創立80周年



小松マテーレ旧社屋=石川県小松市

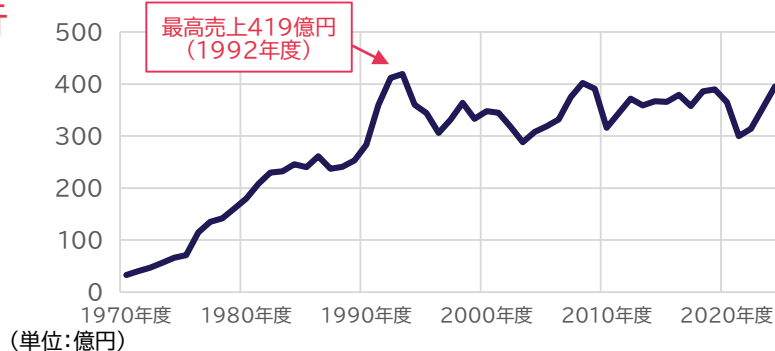


ファブリック・ラボラトリー「fa-bo」

komatsumateRe

社名の「マテーレ(mateRe)」は、素材・原材料を意味する「material」に、繰り返す・再びという意味をもつ「Re」を組み合わせた造語。

繊維加工メーカーから“化学素材メーカー”へ進化し、新技術・新素材を繰り返し生み出していく決意を込めています。



当社売上高推移(上場以後1970年～)



当社株価推移(直近15年)

小松マテールが企業活動を遂行するにあたって最も基本的な姿勢を示した
価値観であり、全ての活動の指針とするものです。

ここに掲げた三つの理念をもとに、私たちは“驚き”と“感動”があふれる
素材を創造し続ける「化学素材メーカー」を目指します。

小松マテールは
人々の感動を創造します

小松マテールは
地球・社会に貢献します

小松マテールは
社員と共に成長します

コーポレートスローガン「 Art in Technology 」



「Art in Technology」=「美しい技術」

このコーポレートスローガンは、「技術と感性の融合」と「芸術の工業化」という2つの基本コンセプトを集約して生まれました。

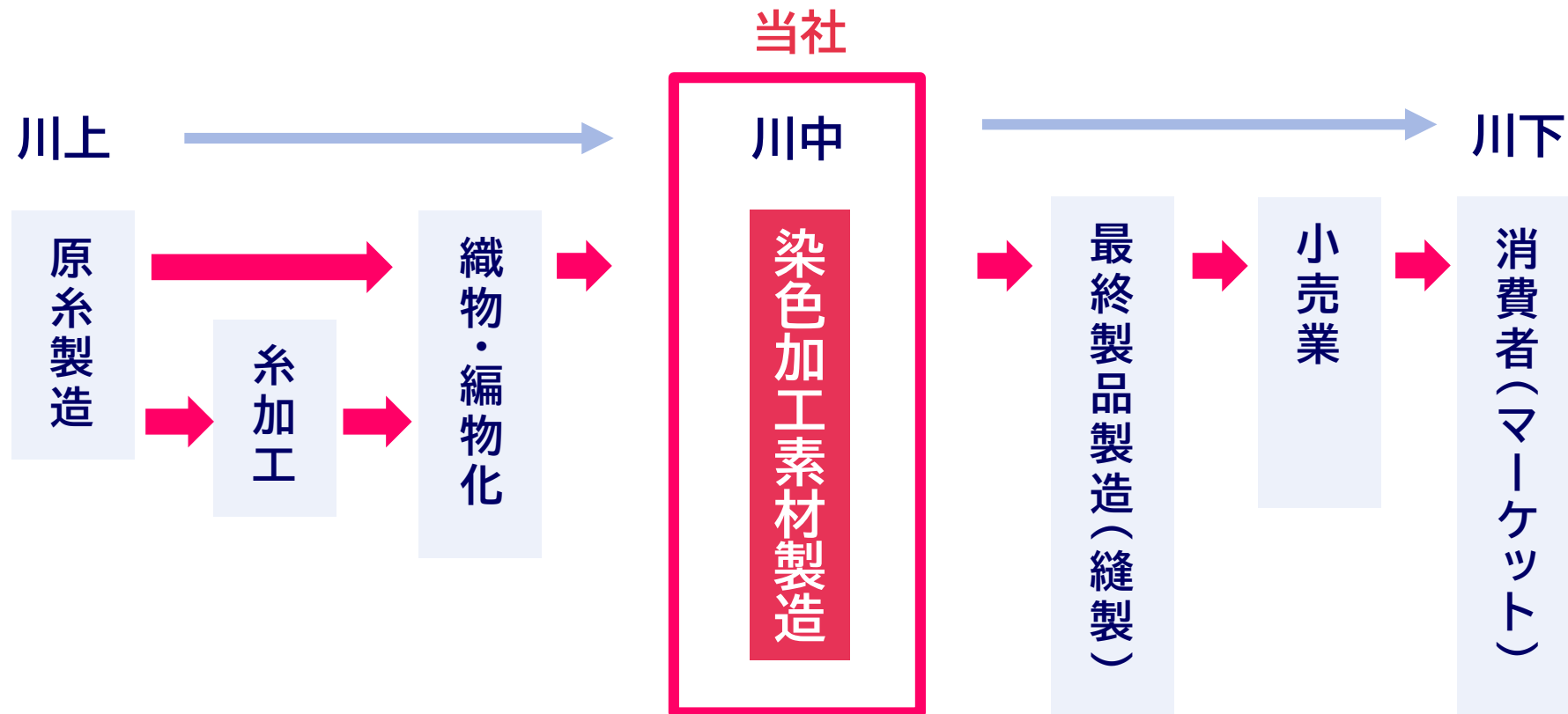
ブランドロゴ



日本一の象徴である“富士山”をモチーフとし、「一番の技術力」と「一番の品質」で世界へ挑むブランドを表現しています。



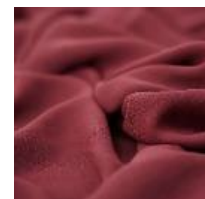
I -6. 会社概要 「繊維事業における当社の位置づけ」



加工素材: 合成繊維 (ポリエステル、ナイロン等)

加工規模: 約2億m²/年 (地球約5周分)

シェア (染色加工): 国内シェア14% 織物では33%



◀ ポリエステル

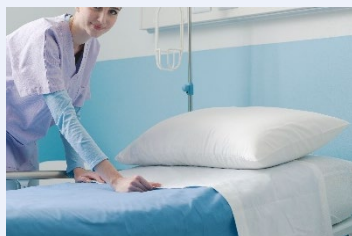


◀ ナイロン

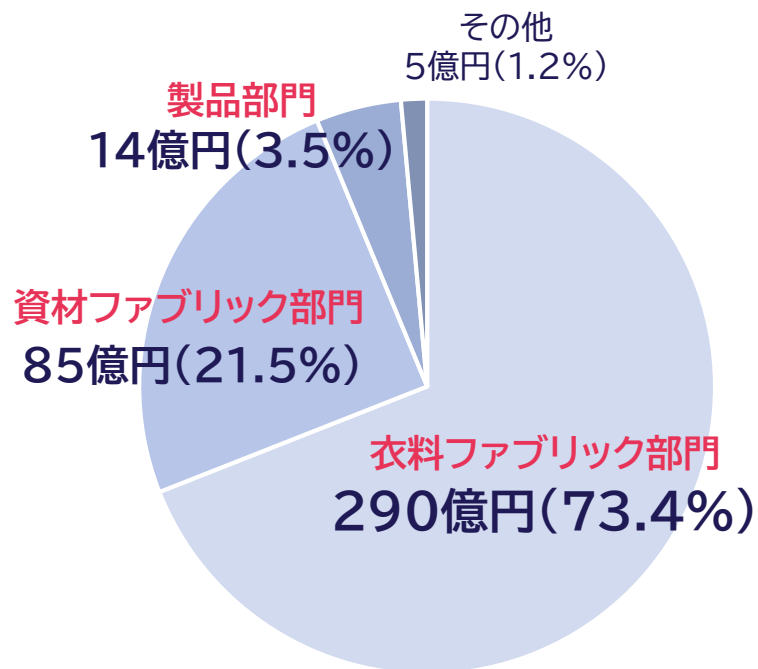
製品部門



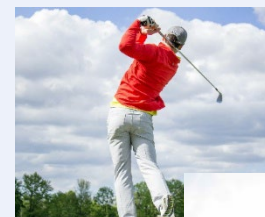
資材ファブリック



2024年度 売上高 395億円



衣料ファブリック

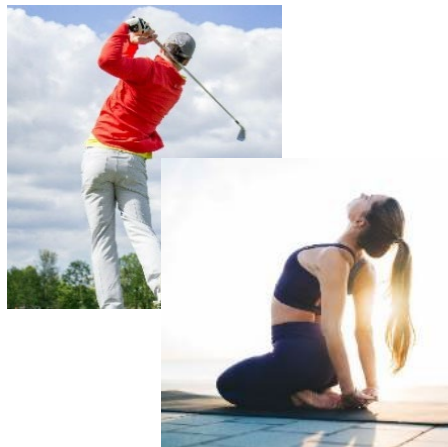


衣料ファブリック

ファッション



スポーツ・機能



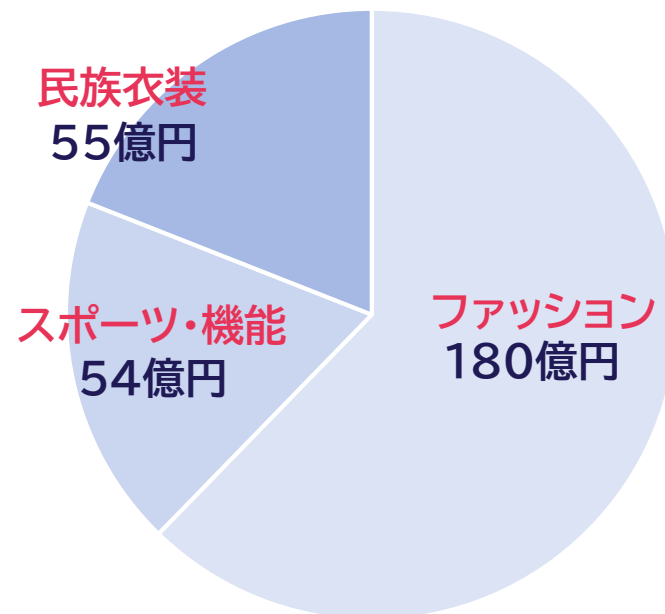
民族衣装



トーブ(中東民族衣装)の
世界シェア **約24%**
KOMATSUブランドは
信頼の証として現地で浸透



2024年度売上高 **290億円**



素材採用事例



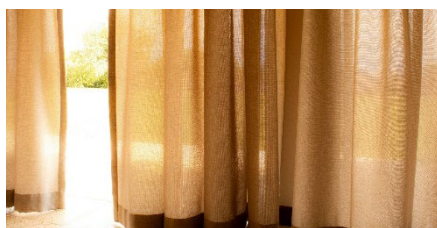
BEAUTY&YOUTH

資材ファブリック

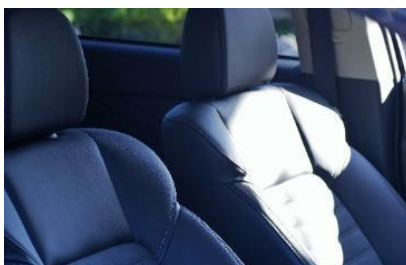
生活関連資材



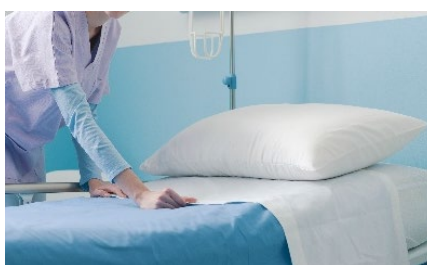
リビング



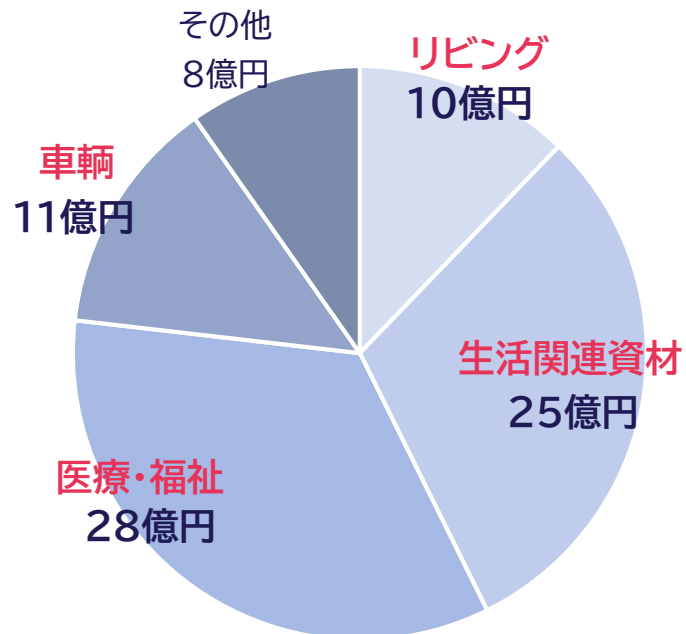
車輦



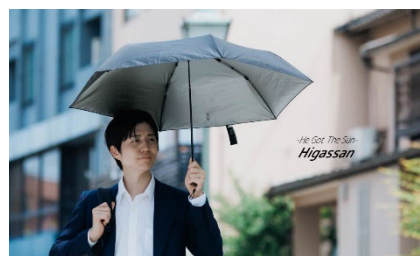
医療・福祉



2024年度売上高 **85億円**



素材採用事例



当社 Higassan(日傘)
紫外線遮蔽率、遮光率99%以上で、140gの軽量



LIXIL バストروب(布製浴槽)

製品部門 2024年度売上高 14億円

mate-mono



KONBU



Makuake
Of The Year
2023受賞!



世界最軽量

天女の羽衣



2025年2月より
当社グループへ

NSKエコマーク



販売拠点



mono-bo (石川県・能美市)



まてーれ (石川県・金沢市ひがし茶屋街)

コラボ商品一例



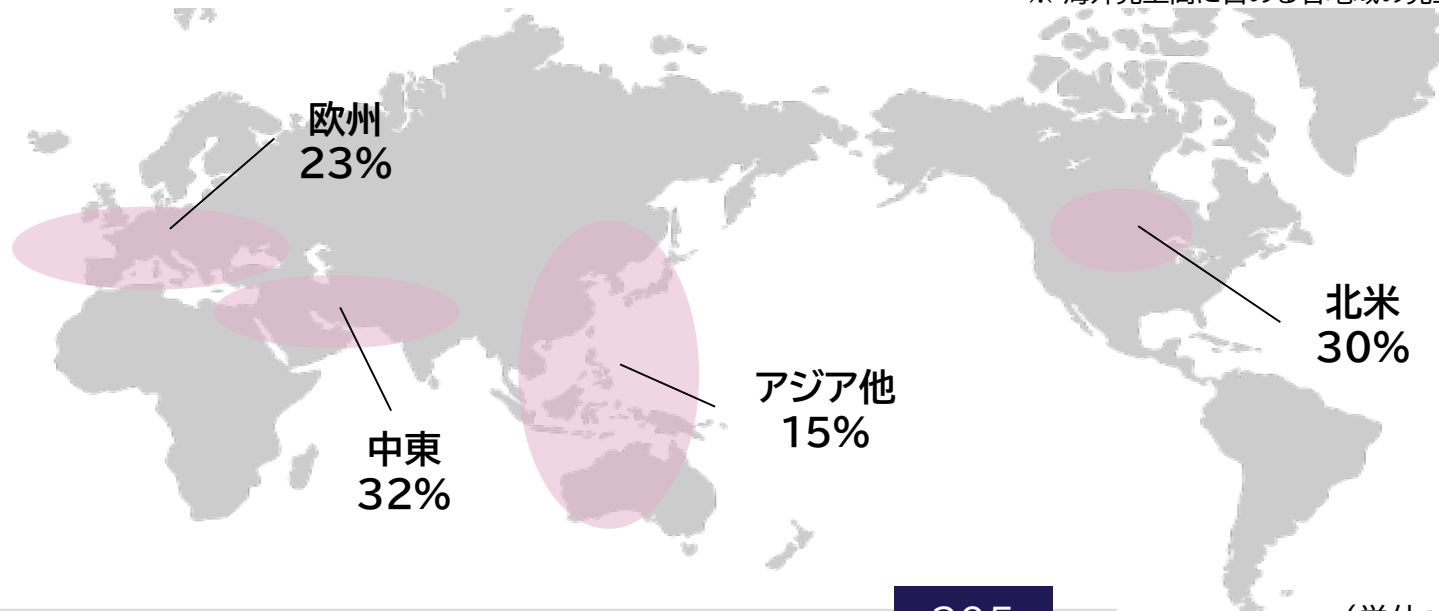
ニッコー



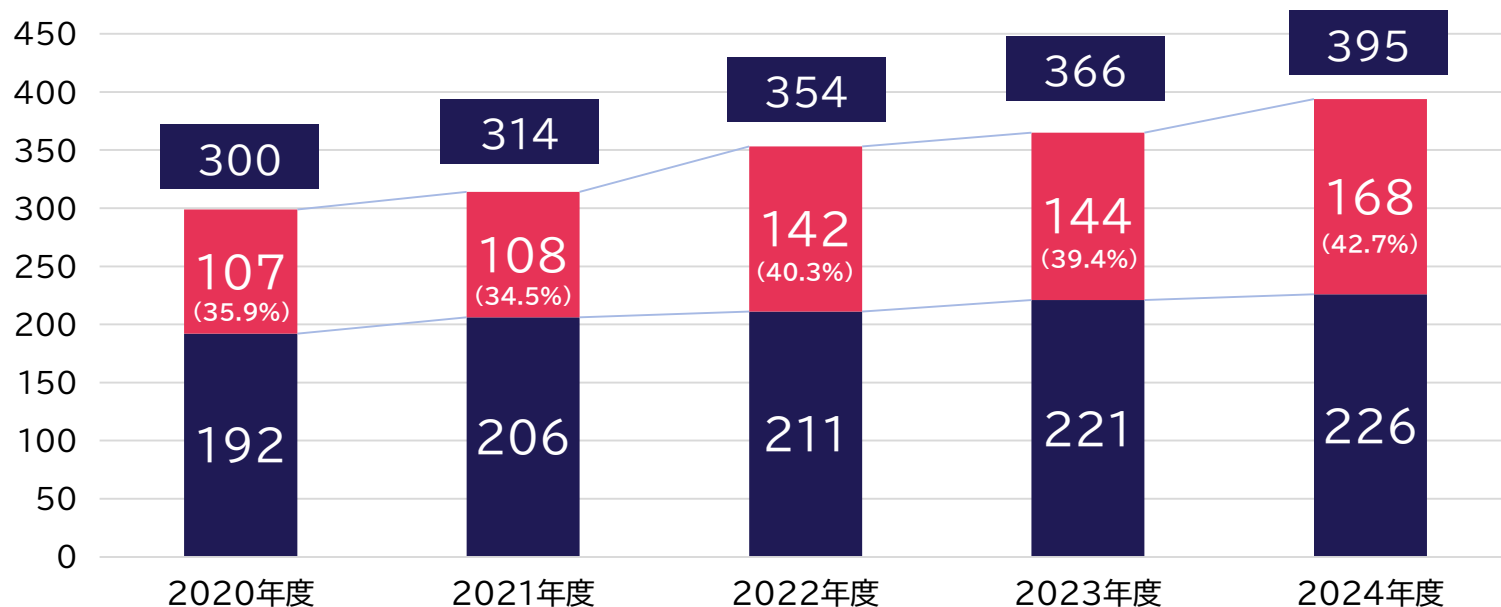
今治タオル

I -11. 会社概要 「海外売上比率」

※ 海外売上高に占める各地域の売上割合



2024年度
売上高
395億円
海外売上高
168億円
海外売上比率
42.7%



(単位:億円)

海外
対前年+23
(16.5%増)

国内
対前年+4
(2.1%増)



Ⅱ．当社の強み

Ⅱ-1. 当社の強み「当社のモノづくりについて」

感性

+

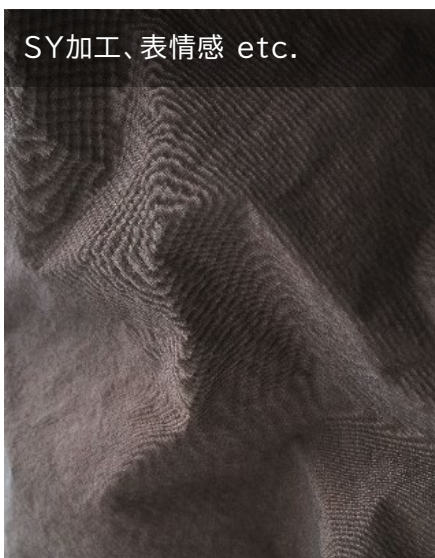
機能

染色

風合い変化

改質加工

造膜加工



技術と感性の融合

Art in Technology

～芸術の工業化～

Ⅱ-2. 当社の強み 「オリジナリティが生まれる現場の力」



技術研究

“新しい”を創造する
小松マテールの中枢



生産管理

創業以来培ってきた
加工技術の応用



素材開発

匠の技がもたらす
クリエイティビティ

エンジニアリング

時代の進化へと導く
高度な技術力



II-3. 当社の強み 「環境配慮素材ブランド mateReco®」

環境配慮型素材の総合ブランド

mateReco®

マテレコ

MATERIAL

原料

環境に優しい
原料を使用



PROCESS

工程

環境負荷の
少ない製造工程



PRODUCT

製品

サステナブルな
素材・製品



素材例

©nibegie®

天然成分配合ファブリック
オニベジ



他社との共同事業

「Brewed Protein™」
プロテイン素材プラットフォーム

Spiber



「PlaX™」

植物由来の次世代合成繊維
Bioworks株式会社



Ⅱ-4. 当社の強み「環境共生素材① グリーンビズ」

当社では染色排水の浄化過程で発生する汚泥を、これまで産業廃棄物として処理しておりました。グリーンビズは、その汚泥を何とか再利用できないかとの思いから生まれた、発泡セラミック素材です。

多孔質セラミックス素材

「**greenbiz**® グリーンビズ」

優れた断熱性・通気性・透水性・保水性が特長。



透水性
保水性



断熱性
耐紫外線



不燃性



吸音性



耐経年劣化



施工事例



国立競技場 外構用ブロック



石川県立図書館

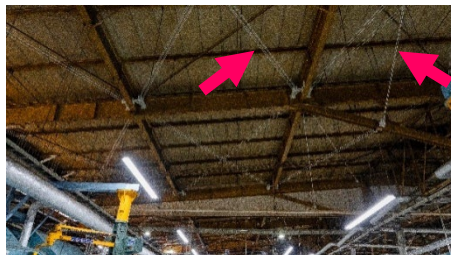
II-5. 当社の強み「環境共生素材② カボコーマ」

軽い、強い、錆びない等、炭素繊維の高い性能を生かした素材。
現在、大型鉄骨建屋補強の新工法について、2026年夏ごろの評定の取得を目指しています。

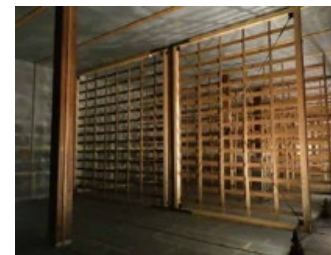
炭素繊維複合材料「CABKOMA® カボコーマ・ストランドロッド」



施工事例(耐震補強)



当社 工場(天井)



富岡製糸場 西置繭所
(群馬県富岡市/2019年)

施工事例(その他)



当社 ファブリックラボラトリー
「fa-bo」



昇降式の駅ホーム柵



大阪・関西万博 NTT パビリオン
航空写真(提供:奥村組)



軽量
(鉄の1/5)



引張に強い



錆びない



硬化後も
熱変形可能



耐久性に
優れる



温度による
寸法変化が
少ない

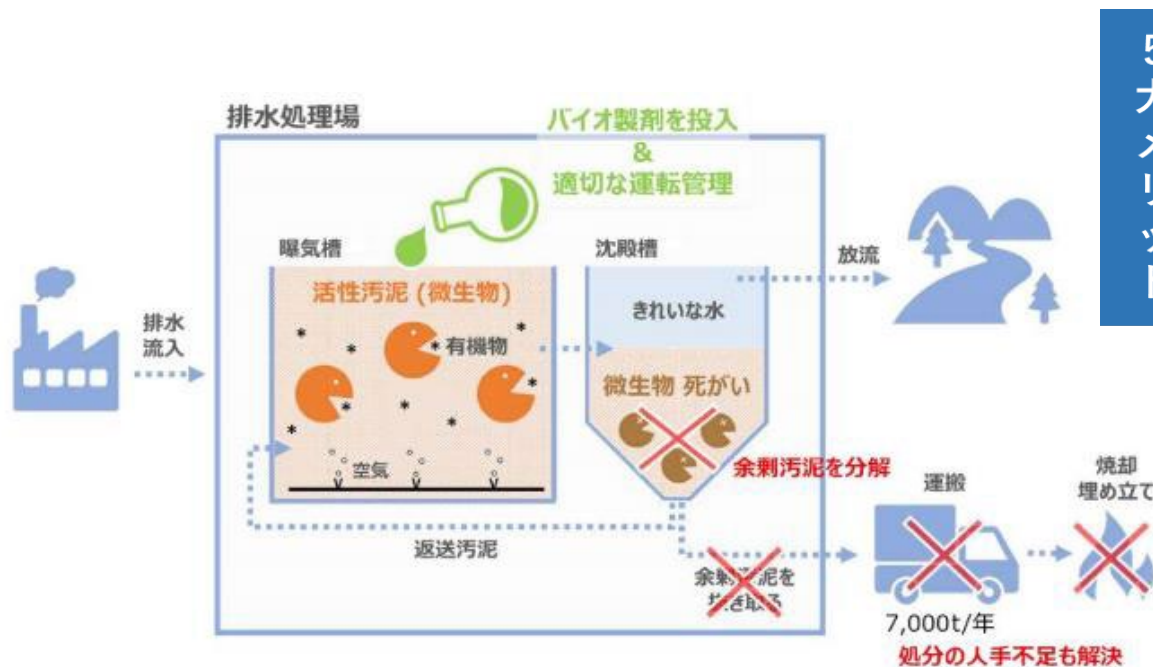
II-6. 当社の強み「環境共生素材③ ベリフォーマー」

「いしかわエコデザイン賞大賞」受賞！

国内の自治体や工場等、
採用件数増加中

汚泥減容化バイオ製剤「**Bellefomer**® ベリフォーマー」

ベリフォーマー由来の分解酵素により、
排水をきれいにするために必要な微生物を一定量維持しつつ、余剰汚泥のみを無くす画期的な技術



- ・汚泥処理費用 最大40%削減！
- ・廃棄物を大幅に削減！
- ・設備の追加・改造が不要！
- ・化成品不使用！
- ・処理水質良化！

余剰汚泥
100%
削減※

※当社事例：使用5か月で年間4,300t⇒0t



Ⅲ. 業績状況

Ⅲ-1. 業績状況「2024年度 決算 財務ハイライト」

売上高

395.2億円

前期比

7.8%増

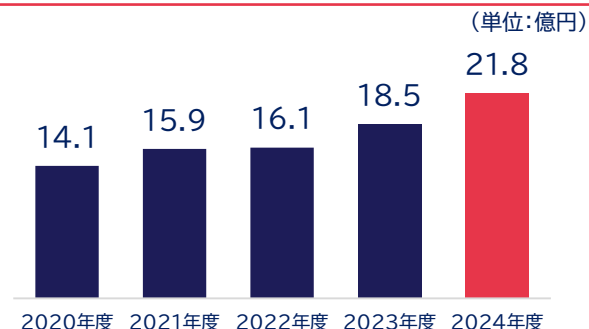


営業利益

21.8億円

前期比

17.5%増

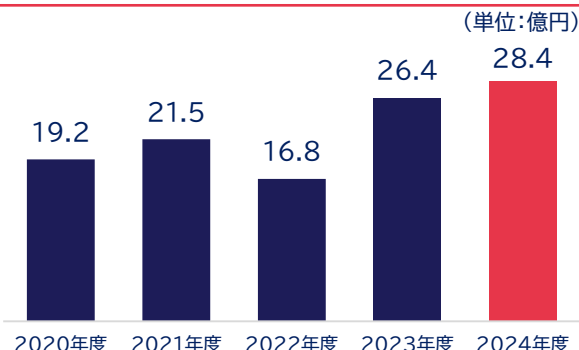


経常利益

28.3億円

前期比

7.4%増

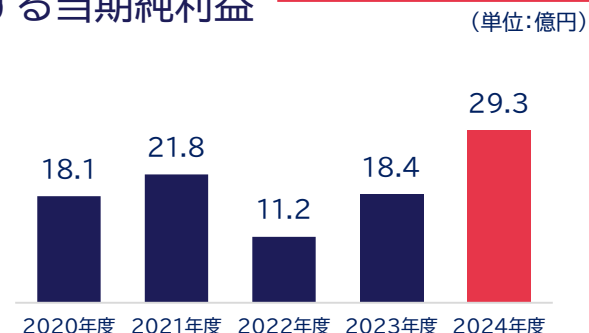


親会社株主に帰属する当期純利益

29.3億円

前期比

59.2%増



1株当たりの当期純利益

73.42円

前期比

27.39円増

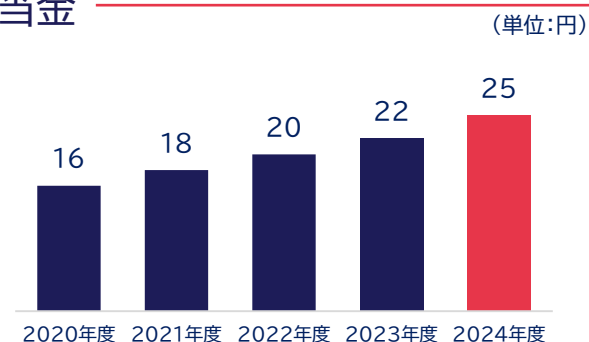


1株当たりの年間配当金

25円

前期比

3.0円増



Ⅲ-2. 業績状況「2025年度 業績見通し」

(単位:億円)

項 目	2024年度 実績	2025年度			増減(通期比較)	
		上期予想	下期予想	通期予想	金額	増減率 (%)
売上高	395.2	200	210	410	14.7	3.7
営業利益	21.8	8.5	13.5	22	0.2	0.9
経常利益	28.3	11	16	27	△1.3	△4.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	29.3	8.5	12.5	21	△8.3	△28.4

一株当たり当期純利益	73.42円
------------	--------

52.99円

期中平均 為替レート	USD	152.62円
	EUR	163.88円

145.00円
153.70円



IV. 中期経営計画

2024年度を初年度とする新たな3か年の新中期経営計画「KFW-2026」がスタート

KFW-2026

スローガン

Art in Technology

技術と感性で人々と社会をより豊かに

事業領域

1

海外事業の拡大

ファッション衣料と非衣料分野

2

小松マテーレ式
サステナブル
商材・事業の推進

3

製品事業の推進

基盤強化

4

人材育成の強化と
エンゲージメントの向上

5

製造環境の整備、
福利厚生面の充実

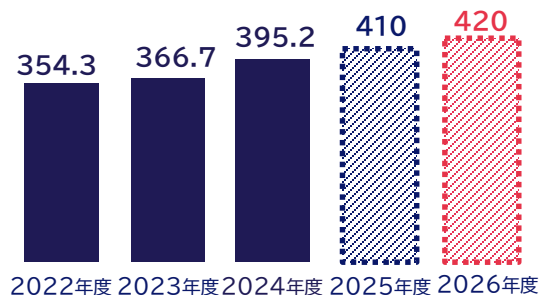
IV-2. 中期経営計画 「数値目標」

連結財務ハイライト

売上高

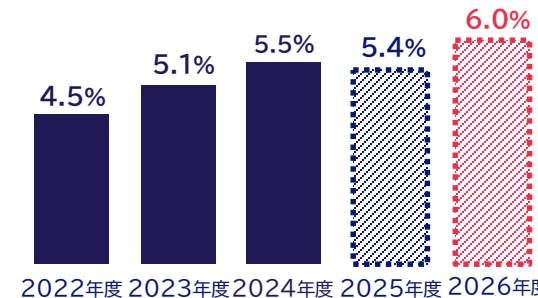
420 億円

(単位: 億円)



営業利益率

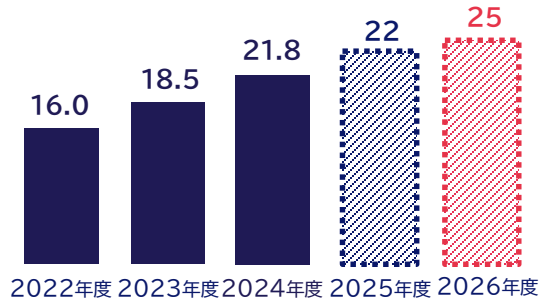
6.0%



営業利益

25 億円

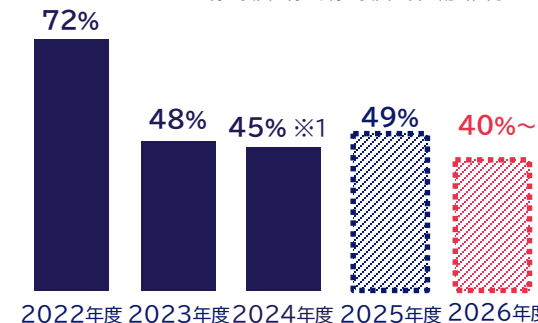
(単位: 億円)



配当性向

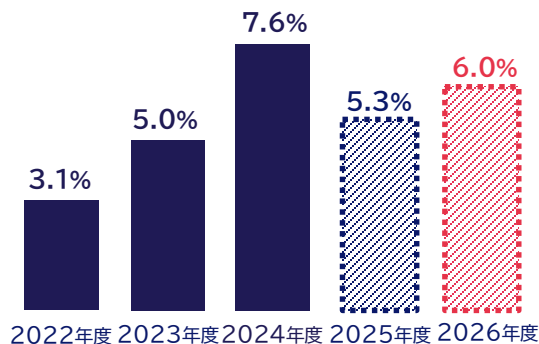
40%~

※1 特益要因を除く。特益要因を含む配当性向は34%



ROE

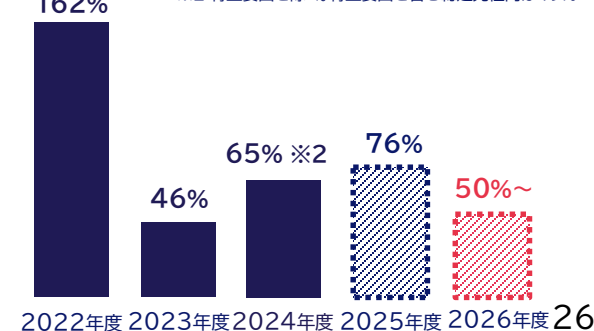
6.0%



総還元性向

50%~

※2 特益要因を除く。特益要因を含む総還元性向は49%



IV-3. 中期経営計画 「重点事業領域の課題」

①海外事業の拡大(目標:海外売上比率43%)

欧・米・中東・アジアの取り組みを更に強化

グローバルマーケティング&セールスチーム(GMST)を設け、
青山ショールームを拠点とし、さらに海外の営業拠点の設置も視野に。



生地の世界最高峰の展示会「ミラノニカ」での展示会に出展

②マテーレ式サステナブル商材・事業の推進(目標:マテレコ売上比率40%)

サステナブルだけでなく高感性も兼ね備え驚きと感動を与える事業・商品を創造

mateReco®

テキスタイル でのサステナブル



建材 でのサステナブル



汚泥減容化バイオ製剤

③製品事業の推進(目標:売上17億円)

「toC」素材の感動をダイレクトに発信

「toB」製品・半製品ビジネスの推進



ファクトリーショップ
mono-bo



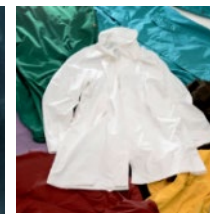
まてーれ
金沢ひがし茶屋街



mate-mono
青山ショールーム



mono-bo
通販サイト



お客様の不要になった衣料を染め替えて、ヴィンテージ風加工にリメイクして販売する循環型ビジネス

④人材育成の強化とエンゲージメントの向上

人的資本の拡充に向けた3つの優先課題

- 1 人材開発
- 2 柔軟な働き方の推進
- 3 多様性・共生・尊重

⑤製造環境の整備、福利厚生面の充実

効率的で働きやすい作業環境

DX化による業務プロセス革新・効率化

指 標	2023年度実績	2026年度目標
社員一人当たりの研修費用	1万円	4万円以上
新卒者における離職率 (入社3年以内)	11.1%	10%以下
年次有給休暇の取得率 取得日数／付与日数(※) (※)繰越日数を除く最大20日	40.4%	70%以上
障がい者雇用率	2.3%	3%以上
男性の育児休職取得率	23.1%	50%以上
管理・監督職に占める 女性の割合	12.6%	20%以上



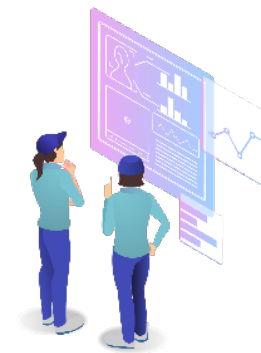
▲福利厚生施設(食堂)のリニューアル



▲東京営業所の移転

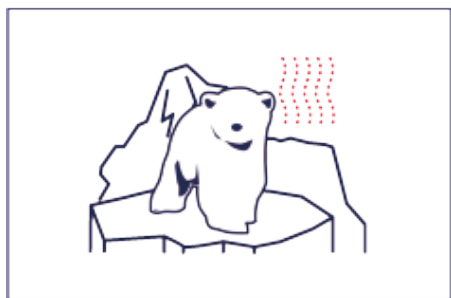


▲本社事務所等改装



持続的な社会の実現に向けて(SDGsへの取り組み)

小松マターレグループでは、2021年より、これからの持続可能な社会の実現(SDGsの実践)のため『小松マターレ・サステナビリティ・ビジョン』として、2030年に向けて次の5つの項目の取り組みを推進しています。



1

気候変動対策



2

循環型社会づくりへの貢献



3

人々の感動の創造



4

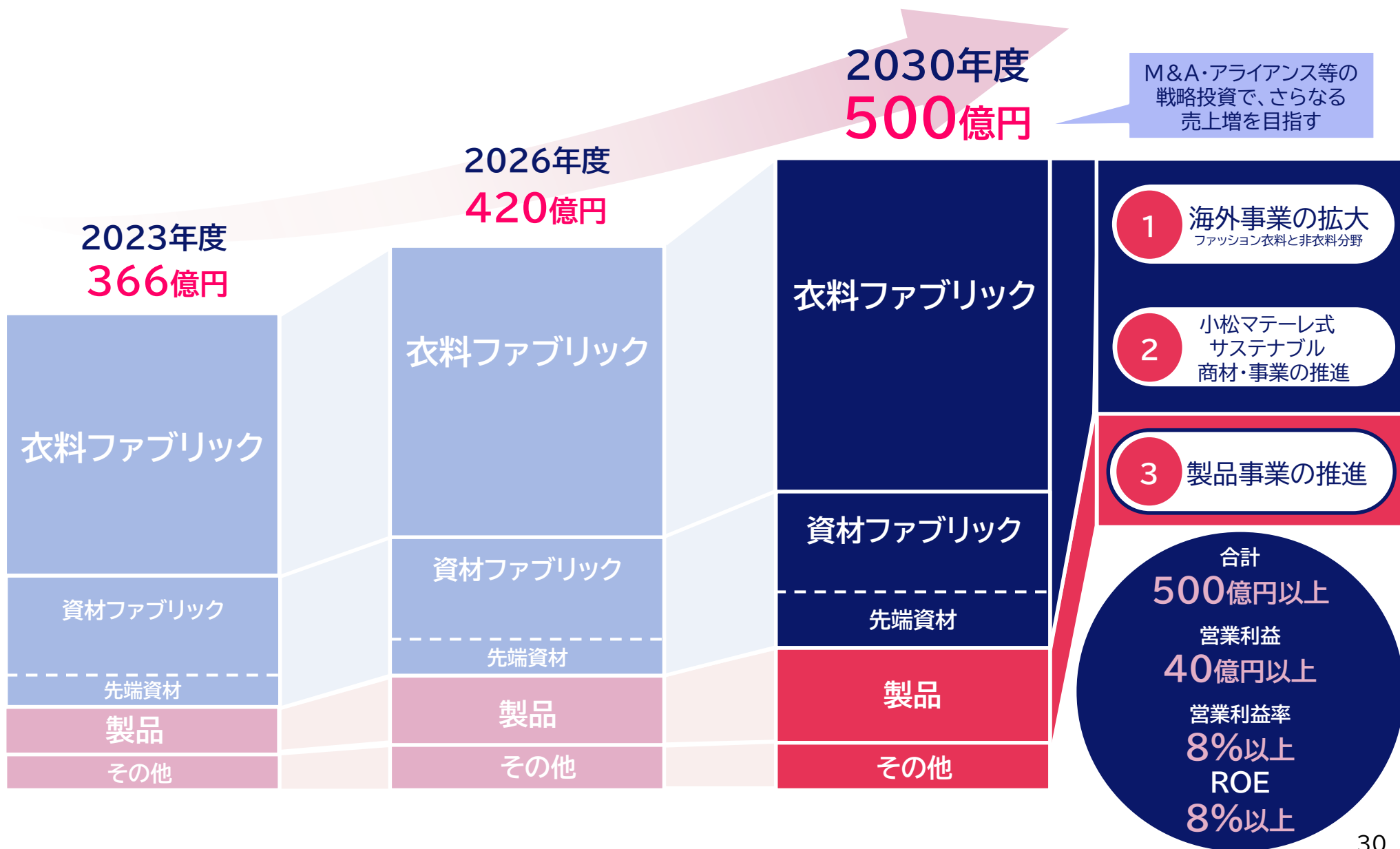
防災・減災への取り組み



5

地域貢献と社員の成長

IV-6. 中期経営計画「長期構想 将来事業イメージ(2030年度)」

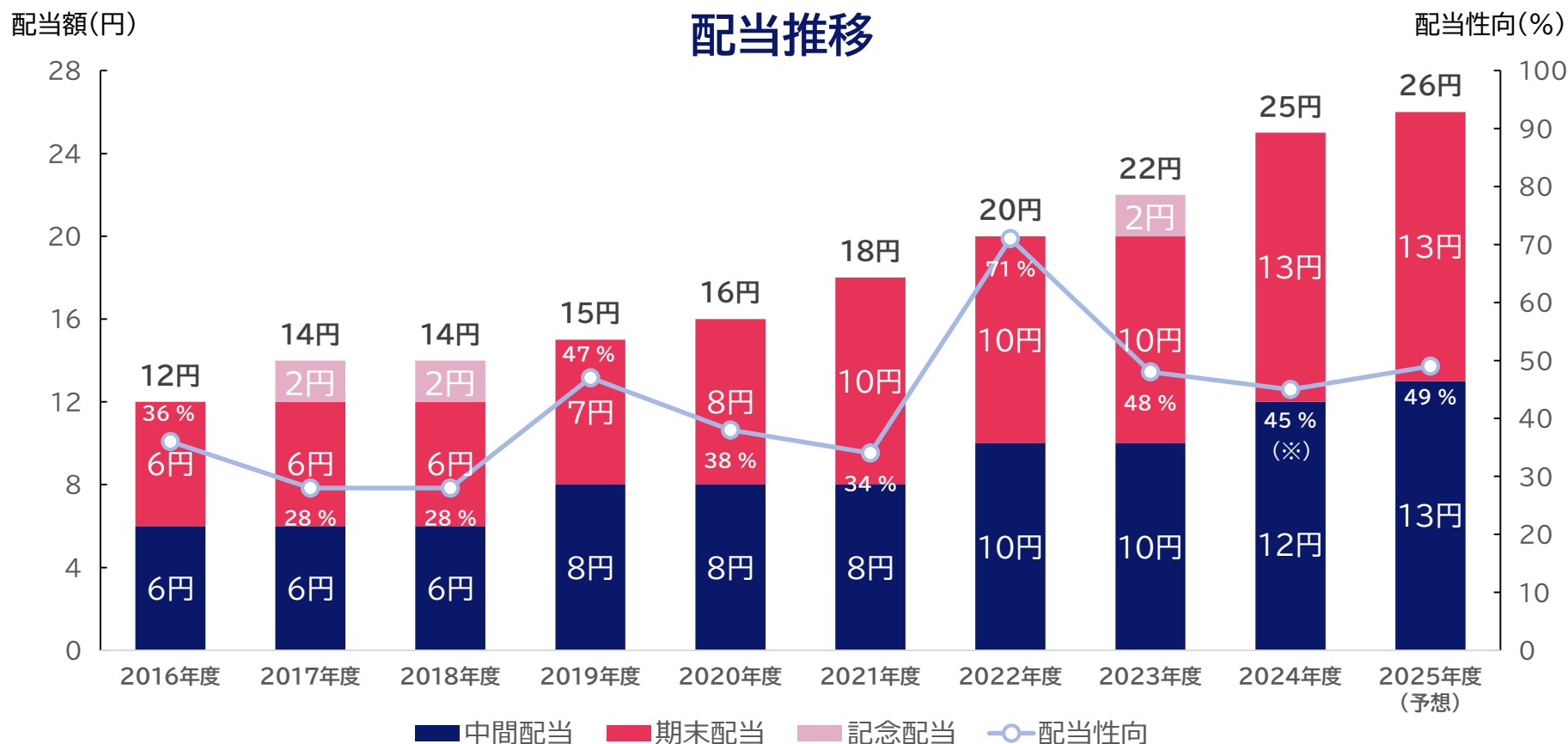




V. 株主還元

V-1. 株主還元 「剰余金の配当について」

- 当社は、株主に対する利益還元を重要課題のひとつとし、安定的な配当を継続的に行うことを基本方針としております。
- 2024年度からは、配当性向について当期純利益の**40%以上**を目安としております。
- 10年間減配せず安定的な配当を実施。また、**6年連続増配**しており、今期も増配を見込んでおります。



(※) 特益要因を除く。特益要因を含む配当性向は34%

V-2. 株主還元 「配当利回りと株価の推移」

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度 (予想)
年度末株価	973円	1406円	691円	775円	786円	777円※
配当	16円	18円	20円	22円	25円	26円
配当利回り	1.6%	1.2%	2.8%	2.8%	3.1%	3.3%※

※ 8月28日(木)終値

証券コード:3580



本資料中の業績予想、見通しについての記載は、現時点における将来の事業環境・経済状況等の仮定・推測に基づいています。実際の業績は様々な要因の変化により、これと異なる結果となる可能性があることをご理解願います。